



なかべ学院
中部少年学院後援会
〒250-0201
山口県下関市東山町1-1-1
TEL:083-266-1934
FAX:083-266-1934
〒250-0201
山口県下関市東山町1-1-1
TEL:083-266-1934



これらの状況を踏まえて、幾度か検討を重ねた結果、このたび山口県や下関市のご協力をいただき、下関市占屋町に所在する山口県立山口南総合支援学校下関分校跡地に移転し新築することになりました。新院舎は、一部二階建ての木造平家造り(定員30名)で、少人数家庭的養育を実践するためのユニット方式を採用しています。木の香のやさしい、温かい雰囲気施設の施設となることを期待しています。新院舎の建設に伴い、乳児院なかべ学院は、併設することも家庭支援センター「紙風船」と共に、下関市における子育て支援の中核的な役割を果たしていくことを願っています。

乳児院なかべ学院は、昭和26年に初代理事長小野倉義が焦土と化した戦後の社会で、家を失い肉親と離別し路頭に迷う母子を見かねて乳児預かり所を開設したことに始まります。当時の施設は、養護施設の一部を板塀で仕切って、隙間風を防ぐために毛布を張りめぐらしたものでした。それでも、職員たちは「逼れば立て、立てば歩め、歩めば語れ。」という一日一日の児童の成長を願って懸命な養育努力を続けてきました。

昭和28年には、乳児院(定員15名)としての認可を受け、昭和42年に新院舎(定員35名)を建設し、同時に県立宇部乳児院と合併して山口県内唯一の乳児院として発足しました。昭和45年には、都市への人口集中による家族形態の変化という社会現象が、家庭での養育力の低下を招いたこと等の理由により、定員を48名に増加し、昭和52年に施設を増築して今日に至っています。この間、終始、貫して家庭環境に恵まれない入所児の健やかな成長を願って、その養育に全力を尽くして参りました。

しかし、歳月の経過とともに施設の建物の老朽化が進み、その上、耐震化の不備などの原因で入所児の安心・安全を確保することが困難となり新院舎の建設が課題となりました。さらに、現院舎は狭隘な傾斜地に建てられた高層の建物です。そのため、国の求める少人数で家庭的な養育を実践する施設を建設するためには、新たに敷地を求めることも課題となりました。

乳児院が新しくなります
中部少年学院理事長 石川 啓



中部少年学院理事長 石川 啓

乳児院なかべ学院建築支援

THE LEGEND

オペラユニット オペラユニット
チャリティーコンサート



日本初の男性オペラ歌手5人組の「オペラユニットTHE LEGEND(ザ・レジェンド)」は、中部少年学院の創設理念に賛同し、音楽や芸術を通して子ども達に愛と夢を届けるため2010年より支援活動を行ってきました。この度、乳児院なかべ学院の新院舎建設支援のためチャリティーコンサートを開催することとなりました。「オペラユニットTHE LEGEND(ザ・レジェンド)」の重厚なハーモニーと、笑いや躍動感あふれるステージをどうぞお楽しみください。

2018 11/2 金
ドリームシップ(下関市生涯学習プラザ)海のホール
開場:18:00 開演:18:30
全席指定:S席¥6,000 A席¥5,000(幼児入場不可)
主催:中部少年学院チャリティーコンサート実行委員会 LEGEND下関コンサート実行委員会
チケットご希望の方はなかべ学院までご連絡ください。

森林セラピィの乳児院
木の香漂う、家庭的な子育てを行うユニット方式の乳児院が、表紙の完成図の様な一戸建て、平成31年3月に完成予定です。

乳児院なかべ学院建設支援の「ザ・レジェンド」チャリティー・コンサートは「オレシジリボン」たすきリレー実行委員会との共催で開催されます。後援会も建設資金の募金活動や、チケットの販売をコンサートの共催者として全力で支援を行い、「コンサート会場を満席にしたいものです。子どもたちが温かい雰囲気の家ですぐすくと育つ施設が完成することを願っています。」
(太刀山 逸美)

後援会加入のお願い
法人年会費 10万円
個人年会費 5千円
何口加入されてもかまいません。お問い合わせはなかべ学院まで
TEL:083-266-1934
後援会事務局

啓さんの知恵袋
理事長 石川 啓
大坂なおみ選手の優勝記者会見で有名になった「がまん。」今日では「堪え忍ぶ」という意味で用いられるが、本来は「思いあがって人を侮る」という意味の仏教語である。

